

2017~2018年度

ROTARY INTERNATIONAL

第2770地区 大宮東ロータリークラブ 週報

『楽しいロータリークラブ
新たな行動 新たな感動』



RIテーマ
ロータリー:
変化をもたらす
米山・経済と地域
社会の発展月間

例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮	会 長	鈴木八郎
時間	12:30~13:30		5-50-9・B-2	幹 事	高橋洋文
例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	TEL	048-685-0145	クラブ強化	
創立	1978年10月28日	FAX	048-687-3495	常任委員長	堀口勝三
		Eメール	omiya.e.ro@nifty.com	公共イメージ	
		http://www.omiyaeast-rc.jp/		委員長	権 基之

於: 栄東高等学校 CCホール

大宮東ロータリークラブ
大宮東ローターアクトクラブ
栄東高等学校インターアクトクラブ
3クラブ合同例会



ビジター&ゲスト

- ◆清水恒信様(国際ロータリー第2770地区 第4グループガバナー補佐
・大宮西ロータリークラブ)
- ◆井上亮様(国際ロータリー第2770地区 青少年奉仕部門
ローターアクト委員会 委員長・幸手中央ロータリークラブ)
- ◆横田松博様(青少年交換学生ホストファミリー・浦和中ロータリークラブ 会長)
- ◆ウェスリー ローガン ホワイト様(2017-2018年度青少年交換学生
出身国:アメリカ イリノイ州 受入校:浦和高等学校・世話クラブ:浦和中RC)



会長挨拶 鈴木 八郎 会長



皆様こんにちは。ここ数日、秋の気配を強く感じています。夕方は少し寒いくらいですね。体調には十分ご注意ください。お客様ようこそいらっしゃいました。3クラブ合同例会を楽しんでいただきたいと思います。また本日の卓話、ウェスリー君ようこそ、ありがとうございます。ホストファミリーの浦和中ロータリークラブ会長横田様ご協力ありがとうございます。毎年この秋と春先の駅前清掃活動を行っておりますが、この3クラブが目的をひとつとして奉仕活動することは素晴らしいことと思います。継続していくことも大切です。もうひとつお話しすると今年度、大宮東ロータリークラブは創立40周年を迎え記念式典の準備が始まっています。栄東高等学校校長先生始めインターアクトクラブ他、生徒の皆さんには色々ご協力をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

卓話 ウェスリー ローガン ホワイト様



こんにちは、僕はウェスリー・ローガン・ホワイト、17歳です。アメリカのイリノイ州にあるマウント・バーノンから来ました。そこは15,000人ほどが住む町で、シカゴ南部から5時間、ミズーリ州セント・ルイスから約1時間、インディアナ州エヴァンズビルから1時間ほどの場所にあります。「アメリカにいる家族について」アメリカにいる僕の家族には、兄のカーリン、弟のケイシー、妹のサヴァナがいます。両親は離婚したため、僕はお父さんと暮らしています。兄のカーリンは24歳、弟のケイシーは16歳、妹のサヴァナは11歳そしてお父さんは53歳です。「生い立ち(経歴)」僕はセント・ルイス郊外にある、ミズーリ州のタウン・アンド・カンタリーで2000年1月4日に生まれました。しかし育った場所はイリノイ州マウント・バーノンです。僕は幼い頃から、科学技術(たとえば飛行機、自動車、電子装置など)や歴史、そして日本にとっても興味がありました。大体はよい子供時代を過ごしましたが、両親が離婚したことはかなりきつかったです。2012年に始まってからまだ続いています。学校生活については、僕は昔から物事を素早く理解する能力があるようです。学校で問題を起こすようなことも決してしませんでした。そして今、僕は高校三年の留学生として日本ですでに1か月以上を過ごしました。「どのようにロータリー留学制度を知ったか」最初に留学しようと思ったのは高校一年の時に、僕はすぐにスクールカウンセラーに相談し、ロータリークラブイリノイ州南部地区の担当者の電話番号をもらいました。しかし高校二年生で留学するには間に合わないことがわかりました。そこで僕は三年で留学することに決めました。そして面接に行き今このように日本にいるのです。「なぜ日本を選んだか」先ほども言ったように、僕は小さいころから言葉にできないような魅力を感じていました。加えて、僕の大好きなアニメや漫画は日本語を学ぶ最高の方法だし、ずっと日本語を学びたいと思っていたこともあったので、これらがきっかけになり日本を一番に選んだのです。「日本に来た目的」僕の主な目的は日本文化を把握すること、できるだけ日本語を流暢に話せるようになること、そして将来、大学で日本に戻ってきた時のために日本に慣れることです。「勉強していること」今はまだ、興味のある学科が多すぎてどれにするか決めてないですが、とある日本語の学科はきっと人生の後半のどこかでやることになるでしょう。「日本で生活してどう感じたか」日本が大好きです。人も、鉄道のシステムも、食べ物も全部大好きです。この言い方は僕が日本に住んで感じたことを表せる、一番良い伝え方だと思います。「夢は何か」僕の夢は、日々やりたいこと以外を心配しなくてよいほどの財産を持つことです。その状態なら他者を助けることができ、そして憂いなく、最大限に人生を楽しむことです。「その他」先ほども述べたように、僕もいつかは大学の留学生として日本に戻ってきます。今のところ最も可能性が高いアメリカの大学はイリノイ大学です。イリノイ大学には「JET」と呼ばれる、日本との教育交換留学制度があり、僕もそれを利用するつもりです。このプログラムを通して、日本で子供達に英語やできれば他の教科も教えてみたいです。そしてこのプログラムが終わったあと、もしかしら僕は日本に永住するかもしれません。



栄東高等学校校長 田中淳子様 大宮東RAC会長 高子景様 片柳高青少年奉仕常任委員長



栄東高等学校IAC・吹奏楽部による演奏を楽しみました。



ウェスリー君は生徒会の皆さんと交流をしました。